

お知らせ

当院では、以下の臨床研究を多施設と共同で実施しております。この研究は通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんお一人お一人から直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。

この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、下記の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】

膵腫瘍に対する膵体尾部切除の短期成績：Propensity Scoreを用いた腹腔鏡下と開腹の比較研究

【研究機関】愛媛大学医学部附属病院 肝臓・胆のう・膵臓・移植外科

【研究責任者】藤山泰二（肝臓・胆のう・膵臓・移植外科 講師）

【研究代表者】日本肝胆膵外科学会 内視鏡外科プロジェクト委員長 若林剛
委員 中村雅史

【研究の目的】

腹腔鏡下膵体尾部切除術は平成 25 年に保険収載され、現在広く普及しつつあります。そこで、膵良性腫瘍および境界病変に対する腹腔鏡手術と開腹手術の全合併症率を主とした短期予後を比較検討し、腹腔鏡手術の現在の位置づけを確認することを目的といたしました。この研究の成果は、皆様の今後の診療にも役立つことができると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん）2006 年 1 月～2013 年 12 月（8 年間）までの良性腫瘍および境界病変に対する腹腔鏡下、および開腹膵体尾部切除術を施行した患者さん

（利用するカルテ情報）性別、年齢、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況（手術術式、手術時間、出血量、術中偶発症発生率、術後合併症、在院日数 等）

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる個人情報を除いて匿名化いたしますので、個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

この研究の対象となられる方で「ご自身の診療録（カルテ）は除外してほしい」と望まれる方は下記お問い合わせ先までご連絡下さい。

【問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院 肝臓・胆のう・膵臓・移植外科 藤山泰二

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5327